

2019 年度 環境保全活動実施報告【北海道地区】

*7年連続の活動

(1)実施日	2019年 07月 06日(土)
(2)実施場所	ウトナイ湖(北海道苫小牧市)
(3)参加者	30名(会員会社11社) + (事務局) 1名 = 計31名
(4)協力	(公財) 日本野鳥の会ウトナイ湖サンクチュアリ
(5)活動内容	<p>外来種とは?などのオリエンテーションの後、オオアワダチソウの抜取り作業を行う(6,370本)。今年は前半を従来のエリアの駆除と後半は新しいエリアの駆除と範囲を広げて実施。従来のエリアでは7年連続の活動の成果が出ており、オオアワダチソウがほとんどない状態で多くは草丈の矮小化したオオアワダチソウを抜き取る。終了後、ウトナイ湖畔周辺の自然観察を実施。</p> <p>【オオアワダチソウの特徴】北米原産の多年草で明治時代以降に移入されたものが北日本に多く分布している。根茎から周囲の植物を弱らせる物質を出す他、1年間で高さ2.5mという生長力の速さで、在来植物を圧倒して大群落を作る。生命力、繁殖力が強いと継続しないと駆除活動は意味がない</p> <p>①H25年 11会員 30名(8,830本) ②H26年 10会員 28名(6,129本) ③H27年 10会員 32名(16,450本) ④H28年 13会員 33名(0本) ⑤H29年 10会員 30名(8,663本) ※雨の為、駆除作業中止 ⑥H30年 12会員 31名(6,870本) 6年間合計: 46,942本 R元年 11会員 30名(6,370本)</p>
(6)スケジュール	08:30 札幌駅北口から貸切バスで出発 09:55~10:20 オリエンテーション ・オオアワダチソウの性質・分布状況など 10:20~11:00 オオアワダチソウ駆除活動 ・抜取り作業、本数確認、片付け、記念写真 11:00~11:35 野外生物ガイドウォーク(ウトナイ湖周辺) ・レンジャーの案内にて周辺自然観察 11:35~12:10 全体のまとめと参加者の感想発表(バス移動) 12:55~15:00 しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の譚(昼食・入浴休憩) 16:35 札幌駅北口到着解散
(7)参加者の感想	・「外来」とは人が持ち込んだということなので、今後注意していきたい。 ・都会の喧騒を忘れて、久々の自然に触れられていい汗をかいた。 ・来年は職場のみんなを連れてきたい。
(8)その他情報	ウトナイ湖は日本野鳥の会が1981年に日本最初のサンクチュアリとして開設。1991年には、ウトナイ湖を含む周辺の湿地510haが国内4番目となるラムサール条約の登録湿地に認定。

オオアワダチソウ



オリエンテーション



抜取り作業風景①



抜取り作業風景②



駆除したオオアワダチソウと

